

## 近代文化研究所 刊行物案内

ブックレット 近代文化研究叢書 880～1,100 円

- |  |        |
|--|--------|
| 1 チキンライスの日本史                               | 小菅 桂子著 |
| 2 トマトの日本史                                  | 小菅 桂子著 |
| 3 おにぎりに関する研究                               | 小田きく子著 |
| 4 昭和 30 年代の生活世界 —生活マンガの視点から—               | 西脇 和彦著 |
| 5 「猫の家」 その前と後 『吾輩は猫である』を住生活史からみると          | 平井 聖著  |
| 6 理想と現実の間に 生活改善同盟会の活動                      | 磯野さとみ著 |
| 7 泥絵 近世絵画の中のもう一つの近代                        | 平井 聖著  |
| 8 日本文法学の系譜                                 | 山田 潔著  |
| 9 高度成長期の生活文化 —新聞記事にみる郊外の団地・ニュータウンの視点から—    | 西脇 和彦著 |
| 10 初代国会仮議事堂を復元する                           | 堀内 正昭著 |
| 11 雑誌『生活』の六〇年 —佐藤新興生活館から日本生活協会へ—           | 松田 忍著  |
| 12 『蠟人形』(昭和五年—昭和十九年)の検討                    | 猪熊 雄治著 |
| 13 世田谷の近代住宅 —和洋折衷の多様な展開                    | 堀内 正昭著 |
| 14 「ドヤ街」から読む「あしたのジョー」                      | 山田 夏樹著 |
| 15 国会議事堂の誕生 仮議事堂からの 5 代にわたる建築史 (1886～1936) | 堀内 正昭著 |

唐招提寺・律宗戒学院叢書 11,000 円

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 第 1 輯 招提千歳伝記 | 関口静雄・山本博也編著 |
| 第 2 輯 律苑僧宝伝  | 関口静雄・山本博也編著 |

近代文学研究叢書 既刊 77 冊

昭和女子大学近代文学研究室著 3,300～9,460 円

- |            |           |         |
|------------|-----------|---------|
| 座談会 島村抱月研究 | 稲垣達郎・岡保生編 | 4,180 円 |
| 座談会 坪内逍遙研究 | 稲垣達郎・岡保生編 | 4,180 円 |

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 近代日本服装史      | 昭和女子大学被服学研究室著 | 8,800 円 |
| 近代日本食物史 (絶版) | 昭和女子大学食物学研究室著 |         |

(税込)

## 近代文化研究所 組織

運営委員長 烏谷 知子	所長 烏谷 知子		
運営委員 石垣 理子	所員教授 秋山久美子	所員准教授 福田 淳子	
運営委員 井原 奉明	所員教授 金子 弥生	所員准教授 松田 忍	
運営委員 志摩 園子	所員准教授 磯野さとみ	所員専任講師 佐川 敦子	
運営委員 高尾 哲也	所員准教授 須永 哲矢	所員専任講師 重松 優	
運営委員 吉田 昌志	所員准教授 早川 陽	所員専任講師 三原 昌巳	
	所員准教授 平野 晶子	所員専任講師 山田 夏樹	
	所員准教授 笛木 美佳	客員研究員 安藏 裕子	
	所員准教授 福田委千代	客員研究員 堀内 正昭	

☆掲載論文の無断転載を禁じます。

昭和女子大学  
近代文化研究所 第十七号  
令和三年十二月二十日 印刷  
令和四年 一月一日 発行  
編集発行人 烏谷 知子  
印刷所 三 秀 舎

〒154-8533  
東京都世田谷区太子堂  
一ノ七ノ五七  
電話 03 (三四一一) 五三〇〇



## 巻頭言

『徒然草』第一九段には、「折節の移り変るこそ、ものごとにあはれなれ」と記す。大晦日から元日を迎える心情を、「かくて明けゆく空のけしき、昨日に変わりたりとは見えねど、ひきかへめづらしき心地ぞする」と述べている。元旦の情趣が見事に表現されている。慌ただし生活であっても、季節に感応する心を大切にしたいと思う。

コロナ禍の社会への影響は依然として続いているが、7月17日（土）には、近代文化研究所主催によるはじめての公開シンポジウム「今なぜ『あしたのジョー』か」を開催し、ウェビナー同時配信によって80名以上の参加者との交流が出来た。昨年度出版した山田夏樹所員研究員執筆『ブックレット 近代文化研究叢書 14 「ドヤ街」から読む「あしたのジョー」』、堀内正昭客員研究員執筆『ブックレット 近代文化研究叢書 15 国会議事堂の誕生 仮議事堂からの5代にわたる建築史（1886～1936）』の2冊に対する反響も嬉しいことであった。今年の二月には三年に亘って所員が手がけてきた資料紹介プロジェクト『夏目漱石 修善寺の大患前後—昭和女子大学図書館近代文庫蔵 新資料を加えて—』が世に送り出される。漱石研究に資する地道な研究活動が花開くことを喜ばしく思う。

本号より「学苑」から独立した「近代文化研究所紀要」を発行する。第17号には、世田谷区代田の平田邸（昭和12年築）調査と、雑誌「自然と盆栽」記事をもとにした盆栽文化研究との論文2本、昭和女子大学図書館所蔵の「畜産彙纂第七號」をもとにした1920年頃の乳牛検定事業についての資料1本を掲載した。いずれも今調査や記録をとらなければ、埋もれてしまう研究テーマである。

所員研究員・客員研究員の活動が近代文化の継承と発展に資することを願いながら、近代文化研究所設立52年目の新たな一歩を踏み出す。

（近代文化研究所所長 鳥谷 知子）

## 執筆者紹介（五十音順）

秋山 久美子（あきやま くみこ）教授・博士（学術）「ピータン調製方法に関する文献調査とその検討」学苑 902, 2015年／「新聞広告に見る戦後日本の食生活の変遷—昭和21年～30年—」学苑 863, 2012年／「清涼飲料水の近代史（第3報）—コレラ流行とラムネ—」学苑 803, 2007年／「清涼飲料水の近代史（第2報）—昭和元年から40年まで—」学苑 790, 2006年／「清涼飲料水（ラムネ・サイダー）の近代史」学苑 778, 2005年

早川 陽（はやかわ よう）准教授・博士（美術）「図画工作・日本画・美術教育—生きることへつながる回路（第IV部 第13章）」『メディアとメッセージ—社会のなかのコミュニケーション』（共著）ナカニシヤ出版, 2021年／「昭和初期の盆栽趣味の諸相—『趣味大観』（1935）にみられる自然栽培趣味の記述から—」学苑 964, 2021年／「総合的な学習の時間における美術制作—教養総合授業「日本画と漆喰レリーフ」から—」（共著）昭和女子大学現代教育研究所紀要6, 2021年／「表現教育における学びの深化の検証（1）,（2）,（3）」（共著）昭和女子大学現代教育研究所紀要5, 2019年, 昭和女子大学現代教育研究所紀要6, 2021年, 昭和女子大学現代教育研究所紀要7, 2022年2月（発行予定）／「総合的な学習の時間における連続美術鑑賞活動の実践—教養総合授業「ひたすら展覧会に行ってみる」を例に—」昭和女子大学現代教育研究所紀要2, 2017年

堀内 正昭（ほりうち まさあき）非常勤講師・博士（工学）『ブックレット 近代文化研究叢書 13 世田谷の近代住宅—和洋折衷の多様な展開—』昭和女子大学近代文化研究所, 2018年／『旧近衛輜重兵大隊営内射撃場の調査報告ならびに復元的考察』（世田谷区文化財調査報告集26）, 世田谷区教育委員会, 2018年／『ブックレット 近代文化研究叢書 10 初代国会仮議事堂を復元する』昭和女子大学近代文化研究所, 2014年／『カラー版西洋建築様式史』（共著）美術出版社, 1995年／『明治のお雇い建築家エンデ&ベックマン』井上書院, 1989年